

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-		
		百貨店（販売促進担当）	・客の買物傾向を見ると、単価の安い店舗の売上が良い状況が続いており、単価の高い店舗、飲食店舗は苦戦が続いているが、そろそろボーナスをあてにした客が増え、また、もう少し寒くなると単価が高い冬物が売れると期待している。		
		スーパー（店長）	・近郊の製造業の工場が操業状態を徐々に通常へと戻しているため、冬のボーナスが出れば良くなる。		
		コンビニ（エリア担当）	・政治の動きが期待感を持てるくらいに活発になっているので、全体的に数字が動き出しており、この傾向が続く。		
		家電量販店（店長）	・年末需要を控え、エコポイント制度の成果が更に現れる。		
		家電量販店（店長）	・地上デジタル放送の開始と、エコポイント制度が追い風になっている。特にテレビの好調さが家電の消費そのものを引っ張っていく。		
		家電量販店（店長）	・年末に向け、エコポイントの実施により薄型テレビの販売が好調を維持すると思われる。加えて、近年販売量や単価の落ちていたパソコン関連が基本ソフトの発売により復調する。		
		乗用車販売店（統括）	・2010年2月までは補助金効果で前年を上回る。		
		乗用車販売店（営業担当）	・あと半年となった補助金の影響もまだまだ衰えず、年末へ向けて更に購入意欲は高まっていく。ただし、暫定税率の廃止と、補助金が無くなった時のことが気に掛かる。		
		一般レストラン（店長）	・クリスマスに向けての予約も徐々に増えており、年末に向かって良くなっていく。		
		通信会社（広報担当）	・冬のボーナス商戦に向けた新商品発売を控えている。		
		テーマパーク（業務担当）	・冬季限定の大型イベント期間を控えており、高速道路料金引下げも相乗効果を生んで、来客数の増加が期待できる。		
		変わらない	変わらない	商店街（代表者）	・新しい街づくりの計画はあるが、補助金絡みの事業がストップしている。
				商店街（代表者）	・客との話の中に「会社の業績が伸びない、残業がない、収入が減っている。」といった、何となくもやもやしたものが強く感じられる。気持ちよく消費する状況ではなく、当面こんな状態が続く。
一般小売店〔酒店〕（経営者）	・生産が回復方向にあるといった報道や、消費を刺激する政策への期待と、年末を控えて消費者の気持ち上向くことにより、最悪の時期に比べ、財布のひもが緩くなる。				
一般小売店〔紙類〕（経営者）	・客単価の減少は一応止まったようだが、低いまま継続する。				
百貨店（営業担当）	・今年の冬の寒さが厳しくなりコートの上が増えれば良くなるかもしれないが、今の状況では好転する材料はない。				
百貨店（営業担当）	・ボーナスの支給額予想に明るい見通しは立たず、夏のセールも厳しい結果だったので、厳しい状況は変わらない。				
百貨店（販売促進担当）	・主力の婦人ファッションに回復基調が見られてきたものの、前年比では依然減少が続いている。また各アパレルも今年の秋冬生産量は前年比80%程度となっており、今後の売れ筋の商品確保、また冬の賞与の削減が想定されるなど、景気が一気に回復する状況にはない。				
百貨店（購買担当）	・来月、再来月は新型インフルエンザのピークが来ると聞いており、来客数の減少が懸念されるが、予防接種が予定通り実施されれば、影響が少なくなる可能性もある。また低価格の商品のある売場が売上を伸ばしている現実と反対の価格設定をしているため、この辺りを何とか見直せば年末に期待が持てる。				
百貨店（売場担当）	・低価格で品質はそこそこ、デザインが良い商品がますます増加し、百貨店が扱う付加価値の高いブランド商品は厳しい状況が継続する。				
百貨店（販売担当）	・個人消費の回復力が弱いと、製造業で見られる景気回復は百貨店では見られない。				
スーパー（店長）	・安くなければ売れないため、売上の確保が困難な状況となり、それが所得の減少を招いて、更に安いものでなければ売れないという、デフレスパイラルのような状態が続く。				
スーパー（店長）	・米国大手金融機関の破たんの影響により、前年9月から景気が落ち込んできたが、1年経って10月になっても、売上が前年を下回っている状況では2～3月での景気の回復は難しい。				

スーパー（総務担当）	・節約志向が更に進んで、安い商品しか動かなくなる。今以上の原価ダウンをやって行かなくては苦しいが、サービスの低下と単価の下落で現状維持も難しくなる。
スーパー（経理担当）	・来客数、売上とも季節要因を引いても横ばいか下降気味で、この状態が続く。
スーパー（管理担当）	・クリスマスや年末年始を迎えるが、低価格商材が売れ筋となる見込みであり、客の節約傾向が顕著な状態が続く。
コンビニ（エリア担当）	・今が底と考えているが、年末に向けてこの状況は変わらない。客の行動を見ると、買上点数を減らし、より単価の低いものを購入しようという状況が目に見えて分かる。
コンビニ（エリア担当）	・12月までの取引先との商談は終わっていて、受注は大体前年並みで行きそうだが、定番商品を中心に販売量が減っていて、これから受注を減らしてくるのではと懸念している。
コンビニ（エリア担当）	・来客数が大幅に増加する要因が見当たらない。また、報道発表から、今年のボーナスは前年より減ることが予想され、客単価上昇の要因も見当たらない。
衣料品専門店（店長）	・インフルエンザの流行により、来客数が減っていく。
衣料品専門店（地域ブロック長）	・来客数は伸びていくが、単価については高単価のものと同価格のもの二極化が進む。
乗用車販売店（店長）	・販売額は前年を越えそうだが、減税効果がいつまで続くかは未知数なので少し不安がある。
乗用車販売店（統括）	・当分変わるような要素もないので、このままの状況が続く。価値のあるもの、得なものには金を使うが、それでもないことには財布のひもは固い状況が続く。
その他専門店〔和菓子〕（営業担当）	・販売が伸びる要因が見当たらない。
高級レストラン（スタッフ）	・概して予約状況は良くないが、月による変動が大きい。
その他飲食〔ハンバーガー〕（経営者）	・しばらくは小幅な増減を繰り返す傾向が続く。安く、魅力ある商品を考えていく必要がある。
その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕（支配人）	・一般的に低価格商品が話題になり、客は価格に敏感になっている。この現状は、今後も続くと思われるので状況は変わらない。
観光型ホテル（経理総務担当）	・宿泊客の動きは回復傾向にあるものの、法人利用は、いまだ不透明である。これから流行が予想されるインフルエンザの影響も懸念材料である。
都市型ホテル（従業員）	・宴会の予約状況は、忘年会などの時期に入ることもあり上向きだが、インフルエンザの影響によるキャンセルが予想され、不透明である。
旅行代理店（営業担当）	・政権が変わったが、建築関連など公共工事等もなく、市場を見ても景気の良い会社が少なく、旅行すること自体がどんどん減っている。
タクシー運転手	・日々の仕事に加えて、企業の依頼などの特別な仕事もただけあって、前年比の売上減が圧縮できるかを懸念する日々がこれからも続く。
タクシー運転手	・特に大きな変化はない。前年に比べて全て80～90%で動いていて、この動きは変わりようがない。
通信会社（社員）	・新しい基本ソフトの出荷に伴う新規パソコン購入、ソフト切り替えをきっかけに新たに通信サービスを契約することがあり得るが、総体的な売上は変わらない。
通信会社（企画担当）	・サービス単価の下落や無償サービスの普及が強まっている。これはグローバルな流れとなっているので、1年や2年程度では、元には戻らない。
テーマパーク（広報担当）	・高速道路割引の効果で、週末に来客が増える傾向はいまだに続いており、今後も持続していく。
ゴルフ場（営業担当）	・予約等から見て、12月は若干良い。1月以降は天気に左右されるので判断しづらいが、単価は低下傾向にある。
設計事務所（経営者）	・政権交代で今までの仕組みと変わると期待しているが、効果が出てくるのは半年か一年後となる。
設計事務所（経営者）	・来年度の政府の景気対策や企業の動向が見えてこない、建築業界を取り巻く状況は変わらない。
住宅販売会社（従業員）	・客の展示場への来場状況は、多少改善方向に向かっているが、受注量・内容ともに悪い状況が続いており、今後2～3か月で良くなっていくとは考えられない。
住宅販売会社（販売担当）	・相変わらず他社との競争が激しく、また契約までの時間が長くなり、契約件数が増えない状況が続く。
一般小売店〔茶〕（経営者）	・ここに来て、将来に悲観的な見方をする周辺の経営者が増えてきた。

やや悪くなる

	一般小売店〔印章〕 (営業担当)	・名刺の注文が少なく、企業の元気のなさを感じる。また公共事業がカットされたことから、先行き不安視している企業が多い。
	百貨店(売場担当)	・取引先は生産量を減少させており、客の消費に対するムードも非常に悪い。また、冬物商戦、クリスマス商戦について早期の割引販売の話が今から出ており、特に高額商品売上の前年超えは見込めない。
	スーパー(販売担当)	・やや遠方だが年末に大型商業施設のオープンが予定されており、年末年始や休日などの来客数に影響する。
	コンビニ(エリア担当)	・公共工事の削減が更に進み、工事関係の客に対する売上が更に減少する。
	衣料品専門店(地域ブロック長)	・新しい競合店が出店し、ますます競争が激しくなる。
	自動車備品販売店(経営者)	・ETC特需もやや低調に推移し、特に今年の冬は暖かくなると予測されているため、冬用タイヤ等季節商材の購入に慎重になる。また来客数も一層の減少が見込まれる。
	その他専門店〔布地〕 (経営者)	・今年はボーナスが減少する企業が多いというニュースが流れている影響か、客の財布のひもが固い。
	都市型ホテル(経営者)	・宿泊の予約状況が前年比で、減少している。
	都市型ホテル(スタッフ)	・忘年会の予約についての問い合わせが、前年に比べ少なくなっている。また前年までは行なっていたが、今年はするかどうか分からないという企業が多くなっている。
	タクシー運転手	・乗客からは、期待していたエコカー補助金の支給がまだなされていない、マニフェストで上げられていたことが全然実施されていない、一時的には良くなってもどうせ悪くなるといった声が多く、この様子では忘年会シーズンも期待できそうにない。
	美容室(経営者)	・安売りの店は増える、人件費はそう下げられないで、どんどん悪い方向に行っている。何か刺激がない限り、この方向性は変わらない。
	美容室(経営者)	・週末になると高速道路料金引下げの関係で郊外に出る客が多く、去年までは多かった週末の来客数が減っており、この傾向に変わりはない。
	設計事務所(経営者)	・民間の動きが悪い。計画はあっても止まったままで、実施まで至っておらず、この状況がしばらく続く。
	住宅販売会社(経理担当)	・住宅購入に係る贈与税の非課税枠を上げる検討をしている等、不動産業界としては期待できる政策もあるが、その原資は国債発行に頼るものになりそうで、むしろ客の消費マインドが低下する恐れがある。
悪くなる	商店街(代表者)	・経済環境、労働環境ともに先行き不安定で、客は閉塞感を強く感じており、展望の開けない状況が続く。
	商店街(代表者)	・高速道路料金引下げのためにますます来客数が減る。
	スーパー(店長)	・月を追うごとに来客数が減少しており、更にデフレ傾向から商品価格の低下が止まらず、これから先は暗い。
	スーパー(店長)	・競合店の出店とそれに合わせての近隣の販促合戦、今後の収入に対する不安等まん延しており、地方はこれから更に景気が落ちていく可能性がある。
	スーパー(財務担当)	・雇用環境、所得環境の改善の兆しが見られず、個人消費は今以上に悪化する。
	コンビニ(エリア担当)	・今後も商品単価が下がり、更に客単価も下がっており、この傾向はこれからも続く。
	衣料品専門店(販売促進担当)	・客の声で今年の冬のボーナスは期待できないと聞くので、これから中々高単価のものが売れない。買いたい人が控えている人がまだまだ多く、良くなる兆しすら見えない。
	住関連専門店(広告企画担当)	・単価を低く見せて、客を集めようとすると、更に単価の低い品を求める層しか集まらない。その繰り返しが続いており、これからも続く。
	一般レストラン(店長)	・一般家庭の外食回数が減っている。我社もセットメニューの価格を下げての営業を余儀なくされており、客の様子から見ても、これからも厳しい状況が続く。
	美容室(経営者)	・客からは現状では一気に景気の回復は見込めないで、これからは今のままで頑張るしかないという話しかない。
	設計事務所(経営者)	・しばらくは受注回復するという予想は困難である。
企業 動向 関連	良くなる	-
	やや良くなる	農林水産業(従業者) ・イカ釣り船が今までの不漁が嘘のような好調さで前年比2倍の水揚げがあり、これが維持されそうである。ただしエチゼンクラゲの被害は深刻になっている。

	食料品製造業（総務担当）	・12月期までで過去最高の売上が出そうである。社員一同が様々な努力したこともあり、しばらく右肩上がりの傾向が続く。	
	食料品製造業（業務担当）	・受注価格が上向けば、デフレ基調は改善され、各業種に明るさは出てくる。	
	化学工業（総務担当）	・今年一杯は、荷動きに回復の動きが続く。	
	鉄鋼業（総務担当）	・円高による輸出不振が懸念されるが、政府の内需拡大政策に期待できる。	
	通信業（部門長）	・新政権の補正予算も具体的になりつつあることから、行政中心とした市場活性に期待できる。	
変わらない	化学工業（総務担当）	・現状を維持すると思われるが、今後の見通しは不透明である。	
	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	・鉄鋼業向け生産も現状水準が続く見込であり、工事案件も徐々に入っており、生産水準も現状が維持できる。	
	非鉄金属製造業（経理担当）	・今後についても、エコカー関連の一部商品を除き、特に動きは見られない。	
	金属製品製造業（総務担当）	・得意先から来年に入ると上向くだろうとの話は聞くものの、当社の営業担当者はまだ厳しいのではないかと見ている。さらに、得意先の業績見込み、当社の営業情報から判断すると、今後3か月は今の厳しさは変わらない。	
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	・海外向けの自社製品の売上について、市場の冷え込みは当面続く見通しであり、回復の兆しは依然として見られない。	
	電気機械器具製造業（総務担当）	・冬のボーナス商戦に向けて、家電関連の受注が急増している。しかし、自動車・携帯関連は先行き様子見の傾向が強くなり、前年並みの受注で推移している。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・3か月後は、自動車関係を中心に今よりは多少なりとも業務量が落ちる。	
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	・エコ減税・補助金等景気支援策は、需要の先食い感が否めず、先行き不透明感が強い。	
	建設業（経営者）	・年末に向けての期待はあるが、具体的なものは何もなく、良くなる見込みは立たない。	
	建設業（経営者）	・公共工事の大幅な見直しにより業界全体の受注量の減少が原因で、価格面においても競争が激化しており、今後の見通しは非常に厳しい。	
	輸送業（統括）	・顧客の内訳が金融機関よりサービス業の比率が高くなってきていることから、顧客の売上が増えないとコスト増となる我々への受注は増えなくなっており、これからも厳しい。	
	輸送業（運送担当）	・しばらくは今月と同様の輸送量を維持するのではないかと、運送業者から話しがあった。	
	金融業（業界情報担当）	・主要受注先では円高の影響もあり北米輸出が依然として低調で、前年比7～8割程度の稼働率で頭打ちとなる。	
	金融業（営業担当）	・取引先との会話の中で、あまり明るい話題が出てこない。借入等の相談については、賃金など足元の資金繰りに関する話が多く、事業拡大のための設備・運転資金の申し出は少ない。多くの経営者が、将来的な不安を抱えており、売上が伸びない分を資金支出抑制でカバーしようとしている。経営者が、将来的な希望を持っていると感じられる状況となるまで、今の低位横ばい状況が継続する。	
	不動産業（総務担当）	・来客数、成約件数は、横ばいの見込みである。	
		広告代理店（営業担当）	・取り立てて景気浮上に結び付く材料が無い。
		コピーサービス業（管理担当）	・取引先の動きは依然として鈍く、引き合い等の案件は乏しい状況が続く。
やや悪くなる	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・売上の大きな大型エンジンの動向が、今以てしても判然としない。	
	会計事務所（職員）	・製造業、建設業、ともに今の段階では、先の受注の見通しが立たないところが多い。見積りの依頼さえない事態が生じている。	
悪くなる	一般機械器具製造業（総務担当）	・受注量や販売量の動きから見て悪くなる。	
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	・特にデパートや百貨店での売行きが悪く、受注に影響が出始めている。また価格の再見直しも検討される見込みであり、先行きは非常に暗い。	
雇用関連	良くなる	-	
	やや良くなる	人材派遣会社（営業担当）	・例年であれば、年末や年度末に向けた人的需要が活発になり派遣人員も大幅に増える時期ではあるが、今年度に関しては先が読みにくい状況にある。ただし、夏場以降の製造業からの求人数の推移から、若干の上昇は期待できる。

	職業安定所（職員）	・来年度になるが、電子部品製造業で増産に伴う新規雇用や、複合ショッピングセンターの新設に伴う大量募集の採用計画が明らかになるなど、明るい話題が聞こえるようになっている。
変わらない	人材派遣会社（担当者）	・各企業の受注状況は2～3か月前と変わっていない。また急激に回復しそうなニュースはなく、雇用についてもまだ当面は上昇する方向へは変わらない。
	人材派遣会社（支社長）	・エコカー減税など期間限定の景気対策が一巡し、民主の政策次第では景気の2番底がくることが予想され、雇用、個人消費ともに低迷し回復感に乏しい状況が続く。
	求人情報誌製作会社（担当者）	・自社の業績をにらみながら、しばらく採用計画の様子見をしている企業が多く見られる。
	職業安定所（職員）	・求人事業所や雇用調整助成金を申請している事業所の中には、小口の受注を受けているところもあるようだが、先行きは分からないというところが多い。また、求職者では勤務先の先行き不安から、在職中で求職活動をする傾向が引き続き見られる。
	職業安定所（職員）	・企業の求人募集に対する意欲はあり、求人者の来所も増加しているが、求職者数に対する求人数は少なく、新規求人も増加していない。今後しばらくこの状態が続く。
やや悪くなる	民間職業紹介機関（職員）	・現状に変化はあまりないが、新規求人依頼が増加傾向にあり数か月後上向く可能性がある。特に自動車業界や低迷が続いていた半導体業界からの求人依頼が少しずつではあるが入ってきている。ただあくまで「可能性」の段階であり、「変わらない」とした。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・前年に比べ、今年度は追加の求人件数が非常に少ない。
	求人情報誌製作会社（支社長）	・年末に向け、雇用情勢がまだ悪化する。
悪くなる	職業安定所（雇用開発担当）	・1～2か月先の生産が増加する見込みがないからか、雇用調整助成金等の計画届を提出する時期が、以前と比較して随分と早期化している。